

株式会社 構造ソフト

今月のイチオシ

2018年2月号

拡張情報

拡張情報 「BUILD.一貫V」(Ver.2.170) …P1

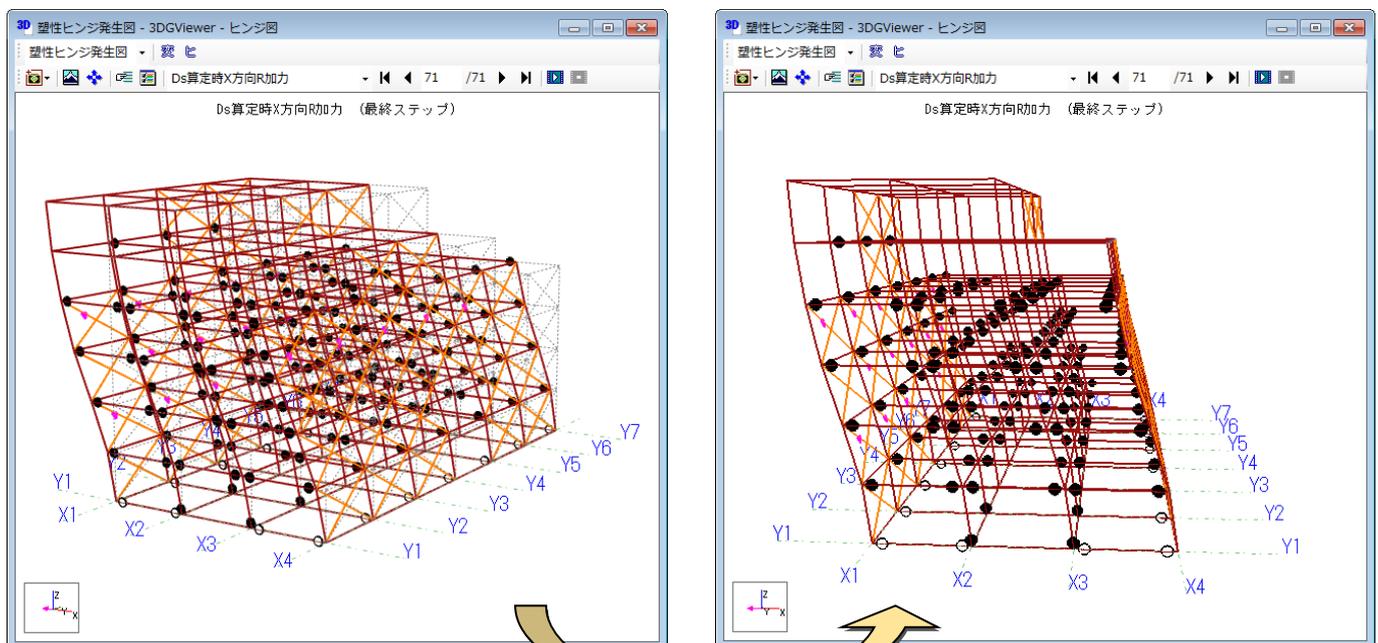
Q&A (適判等からの指摘事例)

「BUILD.一貫V」Q&A …P5

◆「BUILD.一貫V」(Ver.2.170)

・塑性ヒンジ発生状態を3Dで確認できるようにしました。

「BUILD.一貫V」の計算実行画面で **3D** アイコンをクリックするか、ナビゲータのツリーから [計算結果の図化表示(3D)] をクリックすると、塑性ヒンジ発生図を3Dで表示します。ツールバーのプルダウンメニューかアイコン () で、変位図と塑性ヒンジ発生図を切り替えることができます。マウスでドラッグすることで建物を回転・移動することができ、ホイールで拡大縮小することも可能です。

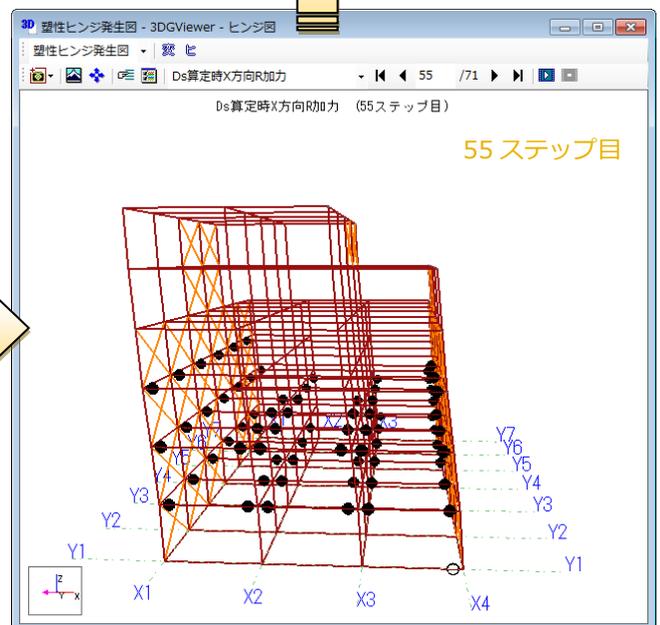
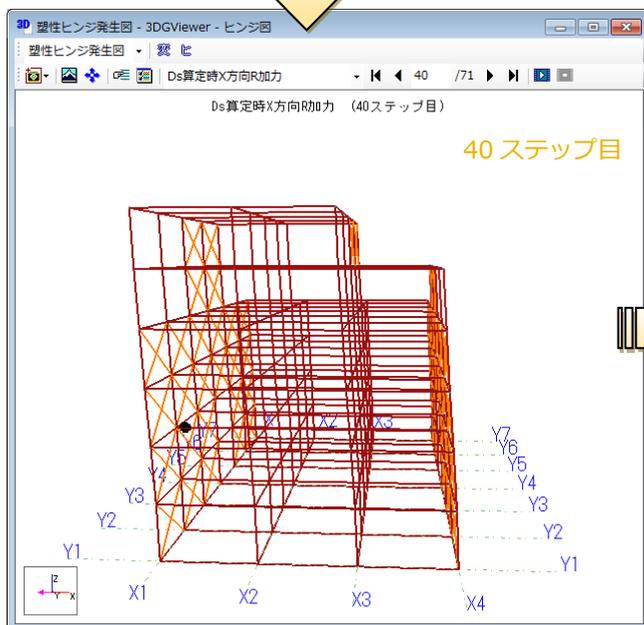
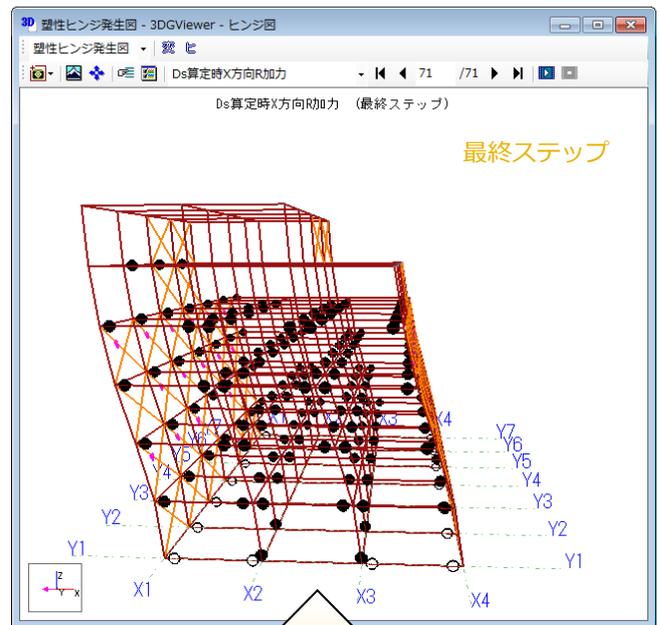
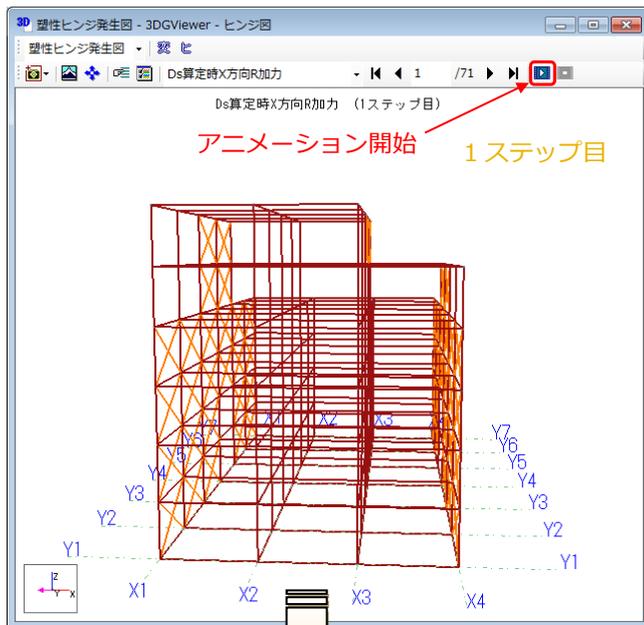


ドラッグすると建物の向きが変わります。

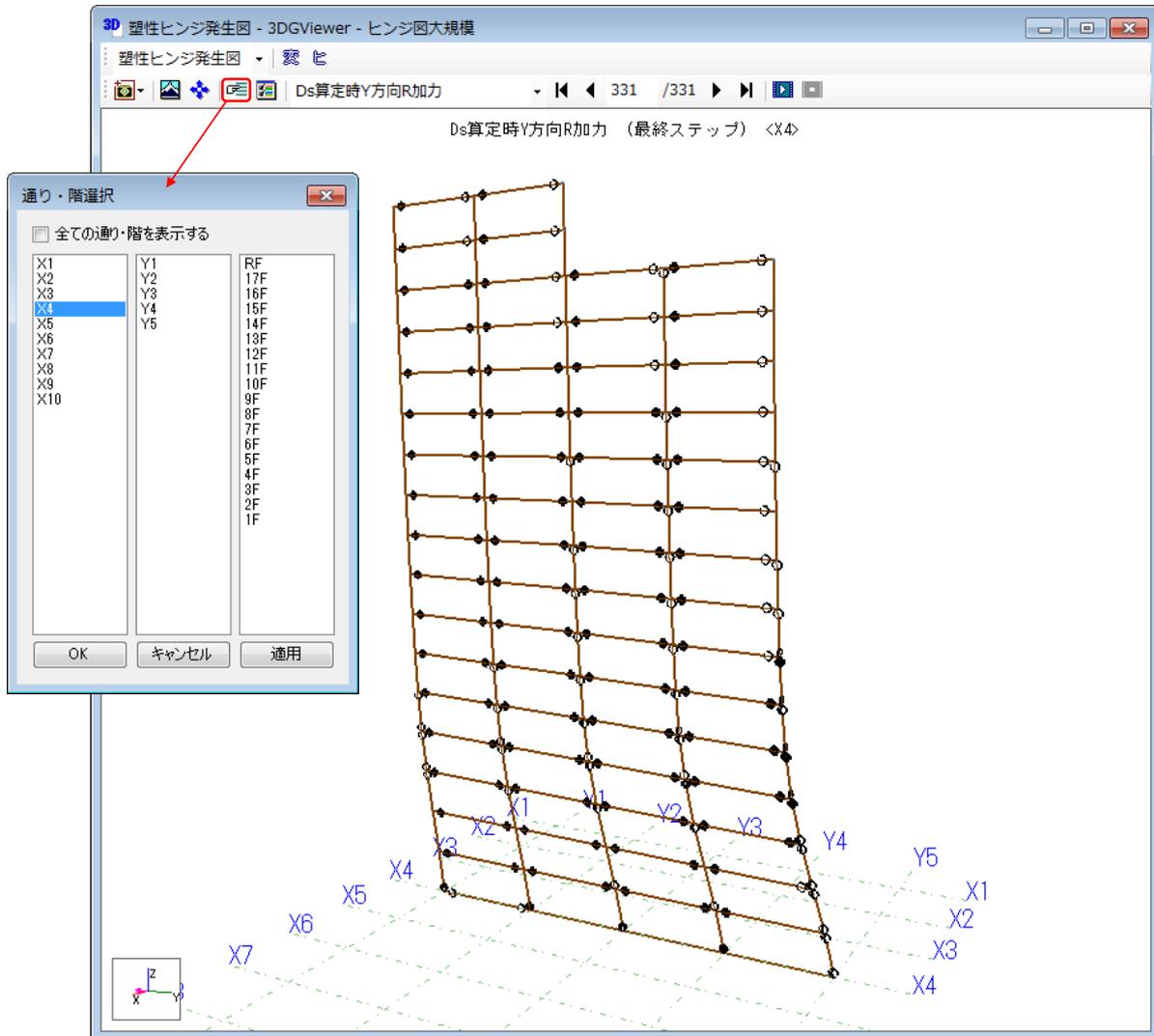
※ 3D 塑性ヒンジ発生図は、[BUILD.一貫V・プレミアムモード](#)に含まれる機能です。

3D 塑性ヒンジ発生図では、保有水平耐力計算時の荷重増分解析について、ツールバーの ▶ アイコンをクリックすることで 1 ステップごとにヒンジ発生状態を確認できます。ステップ番号の直接指定も可能です。変形とヒンジマークを重ねて表現しているため、メカニズムまでの変形とヒンジ発生のイメージがとてつかり易くなります。

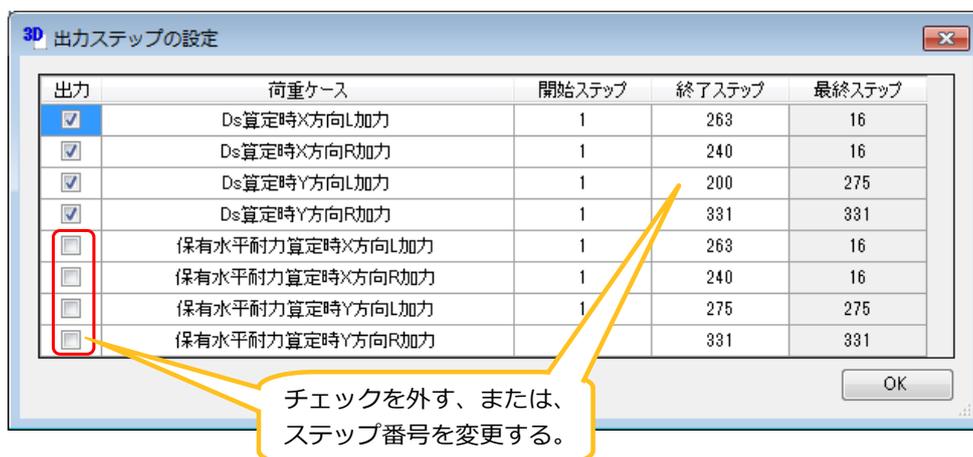
また、🎬 アイコンをクリックするとアニメーションで表示 (ヒンジ発生状態を 1 ステップ～最終ステップまで自動表示) することができます。アニメーションの設定などは、[「今月のイチオン 2017年5月号」](#)の 3D 変位図もご覧下さい。



ツールバーのアイコンをクリックすることで、選択した通り（階）だけを表示することができます。複雑な建物の場合に、変形のイメージがつかみ易くなります。



規模が大きい場合やステップ数が多い場合は、PCのメモリを使いすぎないようにするため、「出力ステップの設定」画面が表示される場合があります。



◆「BUILD.一貫V」Q&A (適判等からの指摘事例)

Q. 適合性判定機関より、計算ルート3のRC造に関して、靱性指針による大梁の付着割裂破壊の検討にNGがありますが問題ありませんかと指摘を受けました。どのように対処すればよいでしょうか？

A. 大梁の種別をFA～FCにする条件として、付着割裂破壊しないという条件があります。付着割裂破壊しないことの確認は、靱性指針による方法以外にも他の方法があるので、別途、他の確認方法で付着割裂破壊しないことが確認できていれば、問題ありません。

靱性指針による方法でNGでも他の確認方法(2010年版RC規準や別途検討される場合等)であればOKと判断できる可能性があるため、NGでも計算書にメッセージは出していませんが、「BUILD.一貫V」Ver.2.120以降では、計算実行画面で「計算書外メッセージ」にチェックを入れて計算すると付着割裂破壊検討でNGの箇所が計算書とは別画面で確認することができます。

技術基準モード：	<input checked="" type="radio"/> 2015年版 技術基準	<input type="radio"/> 2007年版 技術基準
SI単位：	<input checked="" type="checkbox"/> 入力	<input checked="" type="checkbox"/> 出力
自動作成：	<input type="checkbox"/> チェックリスト	<input type="checkbox"/> 概要書
メッセージ：	<input checked="" type="checkbox"/> 計算書外メッセージ	
計算書		
計算書の形式：	<input checked="" type="radio"/> 一貫標準形式	<input type="radio"/> 確認申請形式
出力行数：	<input type="radio"/> 80行	<input checked="" type="radio"/> 100行
ヘッダー：	<input checked="" type="checkbox"/> ヘッダーに計算開始時間を出力する	
断面計算出力：	<input checked="" type="radio"/> 全ての部材	<input type="radio"/> メッセージのある部材のみ
	<input type="button" value="一貫標準形式出力項目設定"/>	<input type="button" value="確認申請形式出力項目設定"/>
		<input type="button" value="確認申請形式の書式設定"/>

付着割裂破壊しないことの確認ができない場合は、種別をFA～FCにはできないので、保有水平耐力計算データの[R S T 1] (大梁耐力の直接入力)の10項で、種別を「D」にしていただいたほうがよいです。

付着割裂破壊については、以下のホームページで詳しく説明していますので、参考にして下さい。

- 技術基準改訂による付着検討・付着割裂破壊検討の取り扱いについてわかりやすく解説
<http://www.kozosoft.co.jp/gijyutu/qa201606.html>
- 付着割裂破壊の検討の概要と取り扱いの注意点
<http://www.kozosoft.co.jp/gijyutu/qa201402.html>

※ [弊社ホームページのQ&A](#)では、この他にも、適判定等からの指摘事例のQ&Aを95件以上、通常のQ&Aを3100件以上掲載していますので、ご活用下さい。なお、Q&Aの閲覧には[サポート会員録](#)が必要です。